

令和4年度第1回 名張市地域公共交通連携協議会 議事概要

日 時 令和4年6月23日(木)

午前10時00分より

場 所 名張市武道交流館「いきいき」会議室

出席者：(敬称略)

(1) 委員

古谷 久人 (薦原コミュニティバス運営委員会 会長)  
橋本 智幸 (株式会社メイハン 取締役部長)  
福本 房生 (ほっとバス錦運営協議会 会長)  
千種 啓義 (緑が丘コミュニティバス運営協議会 会長)  
田畑 博 (美旗地域コミュニティバス運営審議会 会長)  
杉本 公也 (国津コミュニティバスあららぎ号運行協議会 会長)  
平岡 祐一 (三重交通株式会社伊賀営業所 所長)  
木谷 等 (代理出席、株式会社キタモリ)  
谷本 浩司 (名張市都市整備部 部長)

(2) オブザーバー

中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校 教授)  
前葉 光司 (中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官)  
内藤 莉菜 (中部運輸局三重運輸支局運輸企画専門官)  
福田 富彦 (薦原コミュニティバス運営委員会)  
荻田 吉春 (緑が丘コミュニティバス運営協議会)  
島田 光夫 (美旗地域コミュニティバス運営審議会)  
中井 道昭 (国津地区コミュニティバスあららぎ号運行協議会)  
作田 久 (三重交通株式会社伊賀営業所)

(3) 事務局

都市整備部都市計画室3名

1. 開会

2. 議事

(1) 令和3年度コミュニティバス事業評価について

(令和3年度事業評価について、資料に基づき事務局より説明)

<上半期の利用状況について、各運営主体の自己評価の要約>

(ナッキー号)

事務局 令和3年度の利用者は43,907人となり、昨年度に比べ微増していますが、ピーク時に比べると約8,000人減少しています。中型車両での運行、行き先別時刻表の更新、YouTubeを用いた利用促進等を実施しています。一度利用から離れてしまった人を呼び戻すきっかけづくりが必要だと思われます。

(あららぎ号)

事務局 令和3年度の利用者数は2,147人で、昨年度に比べて170人の増加となりました。路線延長と新規停留所の設置、フリー乗降区間の設置、一部便の予約運行、運行時刻の見直しを行い、令和3年4月より新ダイヤでの運行を開始しており、変更の効果が一定出ているものの、利用者数の想定を下回る結果となりました。今後も実態に即した運行になるよう、引き続き見直しに取り組んでいく予定です。

(ほっとバス錦)

委員 昨年度の利用者数は3,196人で厳しい状況が続いており、協賛金を切り崩して運営しています。委託費の減額を検討し、今の値段よりも安く請けていただけるということで事業者を変更することになり、減便等をせずに運行を続けることができます。今後も持続可能な運行になるように努めていきたいと思えます。コロナが収束すれば地域のイベント等も復活していくと思うので、前向きに明るく運行ができればいいと思えます。

(コモコモ号)

オブザーバー 利用者数は右肩下がりピーク時の半分ほどです。行きと帰りの便の運行時間変更等の検討を行っています。市民センターだよりで利用を呼び掛けていたり、小学生に対し、バス運行の授業と乗車体験を支援しました。利用者数の減少に歯止めがかからず、コロナ禍や駅前商業施設の閉店で一旦離れた利用者に別の方法が確保され、戻って来ていないと推察しています。また利用需要が変化しているのかも知れませんが、利便性にも課題があるのではと認識しています。いずれにしろ唯一の公共交通機関なので継続運行出来るよう活動して行きたいと思えます。

(みどり号)

オブザーバー 昨年度の利用者数は3,636人でした。運行以来5,000人台をキープしてきましたが、桔梗が丘駅前の商業施設の閉店やコロナの影響で利用者が減少しています。コミュニティバスは目的がないと乗ってくれません。役員が乗込み調査を定期的にする中で、買い物・レジャーが半減しており、前に乗ってくれていたお客さんが乗れなくなっている現状もあります。魅力のある路線にするにはどうすればいいかということを検討しており、赤坂夏秋橋線の完成に際して路線を延長したいと考えております。また、バスの通信で周辺の店舗情報や現状報告をしています。どうしても続けてほしいというのがお客さんの声なので、それを念頭に考えていきたいと思えます。

(はたっこ号)

オブザーバー 令和3年度の利用者は5,528人となり、昨年度比8%ほど減少しています。ピーク時に比べると運賃収入は41%減で非常に厳しい状況ですが、近頃は回復傾向にあります。昨年度の5月に商業施設に乗り入れを開始し、設置した停留所の利用者数は増加しています。地域の広報紙でも利用してもらえるように掲載をしています。地域のサークル活動やイベントでの利用促進ができず残念でした。4年度に入り利用者が回復傾向にあるため、様子を見て

いき、ストップしていたバス停の屋根設置の件も検討できればと思います。

会 長 それでは、連携協議会としての意見ということで、それぞれのバスについての意見をいただきたいと思います。

<各コミュニティバスに対する意見・質問等の要約>

(ナッキー号)

会 長 行き先別時刻表の作成や YouTube の公開をしている中で、市民からの評価や反応が拾えるような方法はありますか。

事務局 行き先別時刻表に関してはホームページ上で公開しているのと、それぞれの施設で設置しています。定期的に補充している中で1年を通して無くなっていることが多いので、手に取ってもらえている印象です。また、YouTube はナッキー号の動画を4つに分けてあげており、再生回数は千回程度です。普段からの利用者やローカルバス好きの市外の方にも見てもらえているのかなと思っています。

会 長 YouTube は各コミュニティバスで作成していく予定で進めていただいております。

(あららぎ号)

会 長 年齢の変化とともに利用者がバスに乗れなくなってきていると考えられますが、引き続き利用促進をしていただきたいと思います。

オブザーバー 距離が長大な路線でもなぜ委託料が安価なのでしょう。

事務局 運行事業者に委託しているのではなく、地域に委託をしており、人件費、燃料費等を直接積算しているため、委託料を抑えられていると考えられます。

(ほっとバス錦)

委 員 過疎化で利用者が先細りしていますが、利用が増えるということはあまり見込めないのが今をベースに継続していく、それも厳しくなると行政の力を借りたいと思っています。減便となるとより不便になるので今の運行を維持したまま請けていただいたので良かったと思います。錦生地域には市内の人にもあまり知られていない歴史的な場所があります。そういったものの PR など知恵を絞っていきたいと思っています。

会 長 沿線上に歴史や文化に関する見どころが多くあり、幅広い利用者を獲得できるのではないかと思います。

委 員 昨年度の秋に、竜口にトレッキングコースを整備しました。コロナが収束すればボランティアガイドなどに働きかけながら発信もしていきたいと思っています。

会 長 他の地域でもそうですが、住んでいるとわかりづらいですが、市外の人から見たら興味のある資源かもしれませんので、そういったものを探していくのも大事だと思います。

(コモコモ号)

会 長 桔梗が丘駅前の店舗閉店の影響が大きく、年々経営状況が悪化している中で、便数の利便性や経費の見直し、検討が必要になってきていると考えられます。

(みどり号)

会 長 バス停に寄せ植えを置いたり、積極的に利用促進をしていただいています。

オブザーバー 地域密着ということで蔵持小学校の人権の花を植えています。コロナの前はハイキングや観劇、ランチ会などのイベントを実施しています。商業施設が開店した際には買い物の時間の確保のため逆回りの便を設けるなど工夫していますが、人数は伸びていきません。道路の開通に合わせて商業施設にバス停を設けたいですが、現時点ではナッキー号の少し離れたバス停しかないので、行政含めバス停の場所についても相談していきたいと思います。不動産の関係で、緑が丘の空き地の注目度が高いそうです。あちこちに行ける利便性があり、バスもその一因になれたらと思っています。

委 員 道路の開通について、令和5年度中に暫定供用をさせていただく予定です。酒屋からガードを越え、信号まで2車線の道路を確保します。そこから2車線道路と両側歩道を供用しながら作っていきます。近鉄のガードがネックになりますが、暫定供用はあのガードを利用したのになりますので、バスが通れるかは運行事業者と相談していただく必要があります。

(はたっこ号)

会 長 ナッキー号との接続について、どのように検討されていますか。

オブザーバー ナッキー号との連携については、難しい状況だが少しでも待ち時間が短くなるようにしたいと思っています。しかし、時刻を少し変えると全部のダイヤに響くため、慎重に進めていかないと難しいという状況です。

(全体を通して)

オブザーバー お話を聞く中でいろいろとされているなと思いました。

オブザーバー 利用者数の減少の原因は、コロナ禍以外にも人口の減少、個人の行動の変容や福祉輸送の充実などがあると考えられており、今後も利用者数は元に戻らないと想定し政策を立てていくべきではないかと思っています。

店舗の乗り入れについて、実は店舗側がぜひ乗り入れてほしいということで実現しましたが、既存施設への乗り入れというのがかなりハードルが高く、駐車場のラインも引いて許可書を提出しているので、店舗側からすると難しいかもしれません。店舗裏にバス停を、となるとお客さんが不安になるので、できれば前に設置する方がいいと思います。電気屋との間の通路は、警察の判断になると思いますが、出入り口から10メートルのところにはバス停は置けないので、交差するようなところでは許可は出にくいかと思っています。

また、燃料費や人件費が高騰しており、今後も続くと思われるので、事業者を確認をしていただければと思います。

以前から協議をしている乗継割引や一律料金などをそろそろ真剣に協議していかないといけないと思います。そのためには、コミュニティバス、三重交通含め話を詰めていった方がいいかと思っています。

会 長 事業者の方から何かございますか。

委 員 コロナ禍の影響は非常に大きいですが、人々のライフスタイルの変化や駅前のコインパーキングの値下がり等で通勤定期に影響しています。自分の好きな時間に乗ることができるので、

魅力的ですが、我々のライバルかなと思っています。

会 長 以上で、令和3年度事業評価は終了したいと思います。

(2) 規約の改正及び役員の交代について

(事務局より資料に基づき説明)

事務局 委員の交代にあたり、副会長の選任を行いたいと思いますが、事務局提案でよろしいでしょうか。

一 同 異議なし

事務局 それでは、長年はたっこ号を運行していただいている株式会社メイハン様をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

一 同 異議なし

事務局 任期については、規約により残任期間の令和4年度までの期間となります。どうぞよろしくお願いたします。

会 長 規約の改正については、地域公共交通会議において正式に決定されます。

その他

・名張市地域公共交通計画案について

(事務局より資料に基づき説明)

会 長 計画について、持ち帰ってお読みいただきたいと思います。これは計画の段階ですので、実施段階に入りましたらまた連携協議会としては当事者ということになりますので、皆さんの提案やご意見も入れて実行に移せるようになればと思いますので、日ごろ皆さんがしていることや苦勞されていること等反映したいと思いますので、事務局へご意見をよろしくお願いたします。以上で本日の連携協議会を終了いたします。ありがとうございました。